

広野復旧治山工事について（高知県 高岡郡 梶原町 広野）

概要

平成 28 年 6 月の豪雨により山腹斜面の崩壊が発生しました。崩壊した山腹内には、不安定な崩土が堆積しているほか、崩壊により発生した流木も溪流内に堆積しており、今後の豪雨により下流への流出が懸念されることから、治山工事で復旧することとしました。

全体計画として、コンクリート治山ダム 2 基、鋼製治山ダム 4 基、山腹工の基礎に護岸工を施工し、山腹内の復旧を図ることとしております。

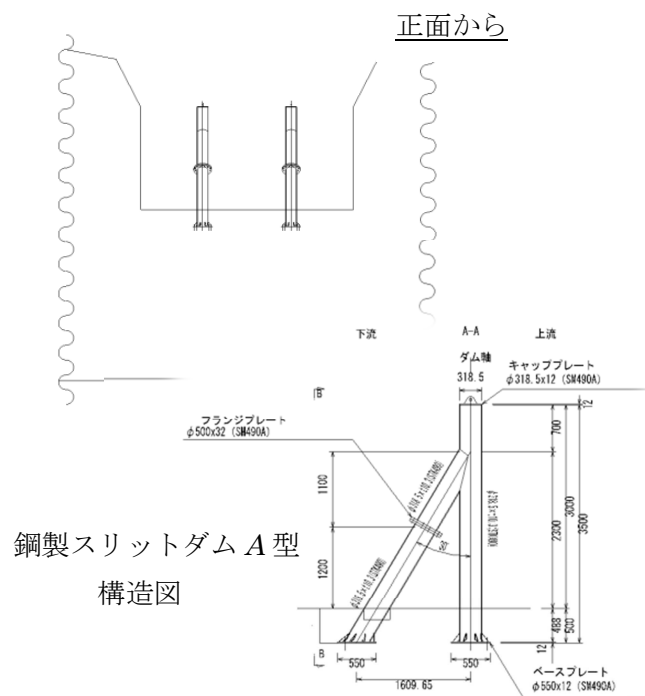
現在、コンクリート谷止工 2 基を平成 28 年度（補正）及び平成 29 年度（補正）事業で施工しており、今回ご紹介するのは、平成 29 年度（補正）事業で施工したコンクリート谷止工です。

谷止工の構造については、コンクリート量=728.9m³、高さ=8.0m、延長=42.0mで、放水路に流木の流出を防止するため、鋼製スリット A 型（高さ=3.0m）を 2 本設置しました。

また、溪流内に堆積していた流木についても工事に併せて除去を行いました。（産業廃棄物処理、156 t）



施工前（流木堆積状況）



鋼製スリットダム A 型
構造図

施工後（谷止工、流木除去）

